

学校便り **グローイング (glowing and growing)**

令和6年6月13日(木)

グローイングとは

学校便りの「グローイング」には、英単語の2番目のrとlを入れ替えるだけで、2つの意味を持つ英単語になります。「growing」は文字通り成長し続けるであり、「glowing」は光り輝く、燃えるような、情熱などの意味になります。教科学習はもちろんのこと、総合的な学習の時間の探究学習などの授業と体育大会や文化発表会、キャリア教育の講話等の行事を通して、

一人一人が輝く場所を見つけ、さらにそのために努力し成長し続けるという意味を込めています。それが、延岡市の目指す子ども像である「幸動～自他の幸せのために学び行動する子ども～」に近づくものと信じています。

例えば、先日行われた礼法講座ですが、もちろん高校入試の際に必要なですが、大人になっても大学総合型選抜入試や就職試験など生涯に渡って必要になってきます。私も昨年校長採用の2次試験で面接を受けました。礼の仕方や入室の作法、志望動機、自分の長所等、事前準備を念入りにしました。どれだけ事前準備が大切かということです。また、礼の仕方、立腰の姿勢など普段から気をつけていないと身に付かないこともあります。今学校で予定しているカリキュラムは、生涯にわたって君たちに役立つものばかりです。一つ一つを大切にたくさんの経験を通して成長してほしいと願っています。君たちはこれからの日本を背負っていく人たちであり、地域の宝です！たくさんの人が見守り応援しています。



地区中体連終了！

6月1・2日(軟式野球・女子バレーボール)、6月8・9日(バドミントン)が終了しました。それぞれの競技にたくさんの応援ありがとうございました。3年生は最後の大会でしたが、そこに心・技・体をベストの状態を持ってくるのは非常に難しいことです。力を出し切った選手、緊張のあまり中途半端で終わった選手、様々な思いをもったと思います。それでも、勝負事ですので、勝敗は決まってしまう。北川中生は、どの部もギリギリの状態です。その中には、中学校から始めた選手も多数います。人数が揃って試合に出られたことに感謝しながら、努力の過程を大事にしてほしいと思います。残念ながら、軟式野球を見ることはできませんでしたが、違う競技では、授業や学校とはまた違った形で生き生きとしている姿を見ることができました。まさしく、成長し続け、光り輝いていました。

かつて私も、女子バスケットボール(1年)、女子バレーボール(14年)、男子バレーボール(2年)、軟式野球(3年)の顧問経験があります。勝てるチームで負けた苦い経験や力以上の結果を出し、選手・保護者と喜んだ嬉しい経験等思い出は数知れずです。その中には、男子バレーボール6人で全国大会に出場したこともあります。(1人は中学から始めた選手でした。)2人は、背も低くブロックも跳べませんでしたが、選手の最後まで諦めない強い気持ちのお陰で県・九州を勝ち抜き全国大会出場を成し遂げました。

この貴重な部活動の経験・頑張っている姿を見て、次へのステップに繋げてほしいです。

